

ウール駅から戦車博物館まで歩いてみました！美しい景色や街並みを見る事が出来ました。



小さなウールの駅。女性駅員さんが1人いて、切符はどうするの？と言ったら持ってて良いと言うので持ち帰りました。駅のドアから無く駅舎の右に写っている所から出ました。

ウール駅から戦車博物館までは約4km。歩いていってみました。しかもボービントン戦車博物館というくらいだからついでにボービントンの街も通って行きました。タクシーなどは右地図の赤矢印を通りますが、私は青矢印を通りました。



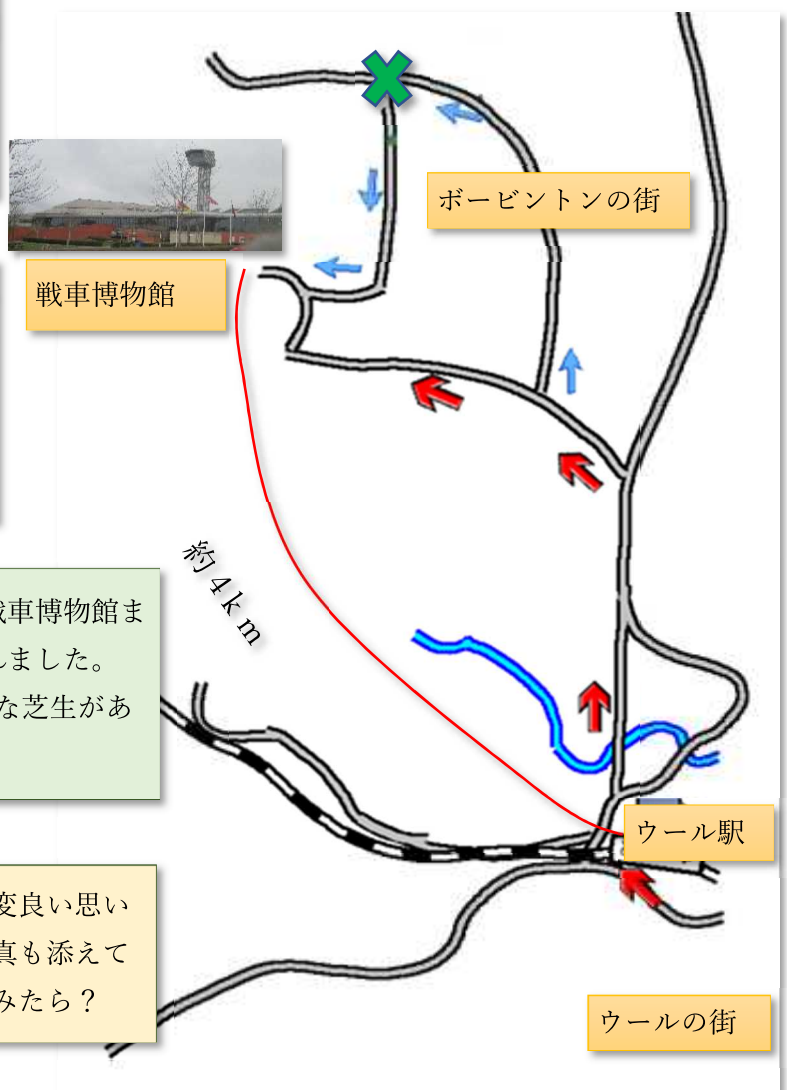
ところが、右地図緑×印の場所で鉄条網の鍵のかかった柵が出現！ボービントンの街を引き返していたら、街の人が「戦車博物館を見た帰りか？」と聞くので、「行き止まりだったので別の道に引き返す所だ」と答えました。



そしたら、「嫌、あの場所は左に細い道があって戦車博物館まで行けるんだ」と言ってその場所まで案内してくれました。×印から左側は森でしたが、細い道を通ると綺麗な芝生があって待望の戦車博物館が見えてきました。



貴重な体験をして、地元の人と色々話も出来て大変良い思い出にもなりました。この一部始終を途中景色の写真も添えて紹介します。時間がある人は一度この街を通ってみたら？



ちなみに、ウールの街はウール駅の南にあり人口約5,000人。ボービントンの街は最近人口が増加して約9,000人だそうです。

ウール駅構内です。プラットフォームは2つで左写真の奥に反対側に行く連絡道があります。ウォータールー駅に帰る時には反対方向のプラットフォームから乗ります。



駅に停車中の列車です。列車はカラフルで綺麗でした。残念ながら窓が汚れていて、途中の写真、ムービーが綺麗に撮影できず、皆さんに紹介できないのが残念です。

右写真は一寸しか写っていませんが列車から見た景色です。車内販売も回ってきます。それから車内では次の停車駅の案内などもありますので、心配入りません。ネットでは停車駅の案内が無い書いているのがありましたが、今は案内するみたいです

列車内では何度も危険物に関する注意の放送が流されていて、すっかり覚えてしまいました。危険物を見たらこうしてください、という事で次のようなアナウンスです。See it, Say it, Sorted. 危険物を見たら、係に言いなさい、処分する。といった意味です。Sortは配列するとかいった意味ですが、この場合には処分する、解決するという意味合いだと思います。危険物キャンペーンに使われているフレーズだそうですね。

ウール駅を出発して戦車博物館まで歩いて見ましょう！



ウール駅から出て右方向を見た写真です。前頁で記載した連絡道が見えます。駅に出たら前の道を右方向に進んでください。すぐに踏切が見えますので、渡ってください。



この部分の踏切です

写真の右方向にウール駅があります。右方向から歩いてきたら踏切を渡ります。



時間が無い人はタクシーを利用しても良いかもしれませんが、駅にはタクシーは止まっていませんでした。下の写真の様な案内があるタクシー会社 (**DURDL DOOR CABS**) があります。ネットで Wool station, Taxi と調べてもこの写真が出るとおもいます。電話番号も書いてあります。

Station Transport



電話でタクシーを呼ぶ時には、Hello, I'm in Wool station. I'd like to take a taxi to the tank museum. とでも言えば良いと思います。Taxi, please to tank museum. と単語を並べても通じると思います。ただ、帰りの戦車博物館ではタクシーを頼んだら30分くらいかかってようやく来たので(それも汚れたミニバンでしたが)、時間はかかると思った方が良いでしょうね。

ちなみにタクシー会社の名前の Durdle というのは邪魔をするという意味ですが、Durdle Door という地名です。